

南保育園 民営化に関するスケジュール等について

1 経緯

南保育園の現状

南保育園は建設から 46 年が経過し、建物の老朽化が喫緊の課題となっており、施設の更新が急務となっています。

近年の財政状況と町全体の方向性

近年、人件費や建設費の高騰により町の財政状況は非常に厳しい状況が続いています。こうした中で、民間企業の豊富なノウハウや柔軟な経営手法を積極的に活用することで、より効率的で質の高い行政サービスを提供していく「公民連携」を町全体で推進していく方針です。

全国的な動向

保育園の建設・運営について、公立保育園への補助が限られている一方、民間保育園には国や県からの補助が充実しており、全国的にも民営化を進めていく方向で進められています。

2 町内における保育園等の状況

本町では、私立保育園として平成 28 年度に「このみ保育園」、令和 7 年度に「たけのこ保育園」「小規模保育所 hagukumi」が開園しました。そして、保育園の民営化として平成 31 年に北中根保育園が、北中根こども園として民営化されました。一方、平成 23 年度に多賀保育園、平成 31 年度に竜宮保育園が統合されています。

3 南保育園民営化スケジュール（予定）

年度	時期	内容	備考
2026 (R8)	5/17	概要説明（大足区会）	
	6/2	概要説明（町議会）	行政報告会にて説明
	7/17	概要説明（保護者等）	
	7/22	民間事業者選考委員会	事業者募集要項の策定
	8月～1月	事業者募集・選考期間	
	1月	事業者決定	
	2～3月	事業者の報告 今後のスケジュール等	町、事業者による説明
2027 (R9)	事業者決定後～ 秋ごろ	設計業務	事業者にて実施
	秋ごろ	工事着工前説明 工事着工	事業者による説明
2028 (R10)	9～10月	入園申込み	例年の保育園一斉申込時期に合わせ園の説明等
	2月	建物完成	
2029 (R11)	4月	開所	
	4月以降	既存園舎解体	

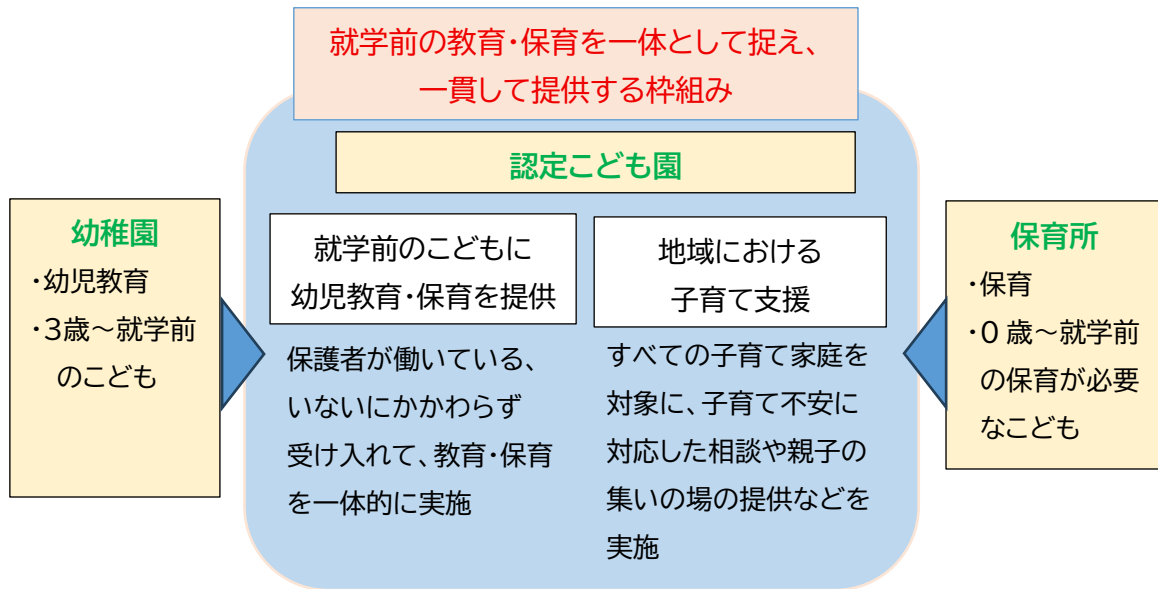
4 建設想定場所



既存敷地に建設する場合、図の黄色破線内を想定

5 民営化形態について

南保育園については、認定こども園としての民営化をしていく方向で進めていきます。



6 参考資料

【各種計画での記載状況】

計画名	記載状況
第2次武豊町保育園等基本方針・整備計画 ※本計画は、令和8年度に見直す予定	(わかば保育園) 東大高保育園との統合も視野に入れた検討を行います。 民間移管をはじめ、様々な可能性を見据えながら継続的に検討します。
武豊町こども計画	南保育園及びわかば保育園については、民営化及び規模の見直し等を検討します。
武豊町公共施設総合管理計画	保育園については、保育需要が増加している状況にありますが、園児が減少傾向にあることを踏まえ、効率的な整備(建替え、改修)・統合・廃止を進めるとともに、運営主体の妥当性を検証していきます。具体的には、公立園とのバランスを踏まえた民営化(民間保育所・民間認定こども園の誘致)について検討していきます。